

媒体価値を高める 評価の研究続ける

J P V A

(一社)日本パブリック
ビューイング協会(JP
V A、神保成章代表理事)
の第17回定時総会が、5
月23日午後3時から東京
内幸町の日比谷国際ビル
コンファレンススクウエ
アで開催した。

総会の冒頭、神保代表
理事は「環境省からの依
頼による熱中症警戒アラ
ートの放映は、社会貢献
事業として当協会の大事
な役目となってきている。
OOH共通メッセージ
や(一社)日本広告業協
会(J A A A)による質
的価値の研究も進んでお
り、こういった我々の媒
体に対する価値を高める

評価についても、研究を
続けていきたい」と挨拶

川写真。



2025年度の活動計
画は、①災害情報伝達法

人として「Jアラート」
受信設備の安定稼働と設
置拡大を図る②環境省と
連携した熱中症警戒アラ
ート放映を実施する③J
P V Aとして大型ビジョ
ンの独自のメッセージ
(指標)TVCMを行う④
メディアとして社会に貢
献する情報提供について
は継続的に協力を行う⑤
新規会員の獲得のための
活動を行う――。

総会終了後、「J A A A
による実証実験の結果報
告」として、名雲王治郎

氏(株)博報堂D Yホ
ールディングスマー
ケティング・テクノ
ロジー・センター研
究開発3G 上席研究
員)が登壇。「OO
H媒体の質的価値の
探求を目的とした第
3回実証実験の結果
レポート」をテーマに発
表した。

続いて4時から、稲葉
豊氏(株)ユーズミュージ
ック代表取締役社長、ヘー
社<日本音楽出版社協会
会長、MUSIC AWARDS
JAPAN実行委員会副委
員長)が、「2025 MUSIC
AWARDS JAPAN」と題
して講演を行った。

懇親会は5時から開催。
星野睦郎会長の挨拶後、
佐藤嘉生専務理事の乾杯
で開宴。会員間の交流が
深まる中、大塚淳弘理事
の中締めで6時半に閉会
した。